



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 三井金属鉱業株式会社
 コード番号 5706 URL <http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仙田 貞雄
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 境 克也
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

TEL 03-5437-8028

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	322,641	5.1	17,565	76.8	18,243	91.3	11,665	113.4
25年3月期第3四半期	306,853	△4.3	9,937	△38.2	9,534	△31.7	5,467	△25.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 20,489百万円 (199.2%) 25年3月期第3四半期 6,846百万円 (70.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	20.42	—
25年3月期第3四半期	9.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	491,881	173,324	33.5	288.27
25年3月期	438,072	155,049	33.5	256.56

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 164,641百万円 25年3月期 146,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	435,700	4.4	22,300	34.7	22,400	38.3	14,100	42.3	24.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	572,966,166 株	25年3月期	572,966,166 株
② 期末自己株式数	1,829,247 株	25年3月期	1,813,745 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	571,144,133 株	25年3月期3Q	571,158,621 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、円安進行による輸入品価格の上昇や新興国での経済成長の一服感等があるものの、「アベノミクス」の実体経済への波及効果に加えて米国や欧州などの先進国の景気回復、緊急経済対策の本格化や消費税率引き上げ前の駆け込み需要による個人消費の高まり等もあり景気回復が持続している中で推移しました。

このような環境のもと、当第3四半期連結累計期間の当社の売上高は、金属・資源セグメントにおいて円安効果等で前年同期比 147 億円（14.7%）増加した影響により、前年同期比 157 億円（5.1%）増加の 3,226 億円となりました。

損益面では、自動車関連製品がエコカー補助金効果剥落等により減販となりましたが、極薄銅箔や薄膜材料等の主力製品での増販や薄膜材料製品のたな卸資産の評価に係る見積り変更による一過性の影響、円安効果やそれに伴うたな卸資産の在庫影響による要因（以下「在庫要因」）等により、営業利益は前年同期比 76 億円（76.8%）増加の 175 億円となりました。経常利益は、為替差益や持分法損益の好転等により、前年同期比 87 億円（91.3%）増加の 182 億円となりました。

また、特別損益においては、固定資産売却益等を特別利益に、固定資産除却損等を特別損失にそれぞれ計上し、さらに税金費用及び少数株主利益を計上した結果、四半期純利益は前年同期比 61 億円（113.4%）増加の 116 億円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①機能材料

ハイブリッド車および電気自動車用電池材料や二輪車排ガス用触媒において、販売が増加しましたが、レアアース価格の低下等により当セグメントの売上高は前年同期比 81 億円（18.6%）減少の 359 億円となり、経常利益は 20 億円（30.2%）減少の 47 億円となりました。

②金属・資源

主要地金の亜鉛において、需要および LME（ロンドン金属取引所）価格は低調に推移しましたが、「アベノミクス」による円安効果等により当セグメントの売上高は前年同期比 147 億円（14.7%）増加の 1,147 億円となりました。経常損益は、円安効果および在庫要因等で、前年同期 32 億円の損失から 17 億円の利益となりました。

（主要な品目等の生産実績及び受注状況）

亜鉛（当第3四半期連結累計期間の生産量 154 千 t <共同製錬については当社シェア分>）
鉛（当第3四半期連結累計期間の生産量 51 千 t）

③電子材料

極薄銅箔は、需要が堅調に推移し増販となりました。一方で、汎用電解銅箔および金属粉は、需要が総じて低調に推移し減販となりました。当セグメントの売上高は、前年同期比 26 億円 (5.0%) 減少の 506 億円となりました。経常利益は、極薄銅箔の増販およびその他製品構成の改善等により 8 億円 (44.4%) 増加の 28 億円となりました。

(主要な品目等の生産実績及び受注状況)

電解銅箔 (当第 3 四半期連結累計期間の生産量 24 千 t)

④素材関連

薄膜材料において、製品の販売が好調に推移しました。さらにその他の製品でも需要は総じて堅調に推移しました。当セグメントの売上高は、前年同期比 36 億円 (4.0%) 増加の 948 億円となりました。経常利益は、薄膜材料の増販やインジウム価格の高騰による在庫要因さらには薄膜材料製品のたな卸資産の評価に係る見積り変更による一過性の影響等により 73 億円 (502.2%) 増加の 87 億円となりました。

⑤自動車機器

エコカー補助金効果の剥落等により、当セグメントの売上高は、前年同期比 30 億円 (4.5%) 減少の 651 億円となりました。経常利益は、減販や生産拠点のアジアシフトに伴う一過性のコスト上昇等があり 36 億円 (67.4%) 減少の 17 億円となりました。

(主要な品目等の生産実績及び受注状況)

自動車用機能部品 (当第 3 四半期連結累計期間の生産金額 571 億円)

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 26 年 3 月期通期 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日) の業績予想につきましては、当第 3 四半期連結累計期間実績および為替・非鉄金属価格等の変動要因に加えて各事業分野での市場環境の状況等を勘案の上、見直しております。

昨年 11 月 5 日にお知らせしました業績予想に比べ、営業利益は 14 億円 (6.7%) 増加の 223 億円、経常利益は 10 億円 (4.7%) 増加の 224 億円、当期純利益は 10 億円 (7.6%) 増加の 141 億円を見込んでおります。

(単位:百万円)

		今回予想 (A)	前回予想 (B)	増減金額 (A)-(B)	増減率 (%)
売上高	機能材料	49,000	48,700	300	1%
	金属・資源	153,000	149,100	3,900	3%
	電子材料	66,000	69,200	△3,200	△5%
	素材関連	129,000	130,800	△1,800	△1%
	自動車機器	89,000	88,500	500	1%
	消去又は全社	△50,300	△50,600	300	-
	合計	435,700	435,700	0	0%
営業利益		22,300	20,900	1,400	7%
経常利益	機能材料	5,500	5,300	200	4%
	金属・資源	2,500	1,600	900	56%
	電子材料	2,900	3,400	△500	△15%
	素材関連	10,300	8,600	1,700	20%
	自動車機器	3,900	4,800	△900	△19%
	消去又は全社	△2,700	△2,300	△400	-
	合計	22,400	21,400	1,000	5%
当期純利益		14,100	13,100	1,000	8%

	4月～12月 実績	1月～3月 見込	今回予想	(参考) 前回予想
為替(円/US\$)	99	103	100	97
亜鉛LME(\$/t)	1,870	2,000	1,902	1,875
鉛LME(\$/t)	2,090	2,100	2,092	2,090

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

当社及び国内連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①たな卸資産の評価に係る見積りの変更

当社及び連結子会社の台湾特格股份有限公司において、引き渡し後、未使用部分につき取引先より返却を受ける薄膜材料製品のたな卸資産計上額は、従来、予定返却量の見積りが困難であることから返却時に実績返却量に基づき計上していましたが、第1四半期連結会計期間より、引き渡し時に過去の実績返却率に基づく予定返却量を見積り計上する方法に変更しております。

この変更は、新生産管理システムを導入したことにより、予定返却量の見積りが可能となったため実施したものであります。

この変更により、当第3四半期連結累計期間の売上原価は2,216百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が同額増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,202	17,995
受取手形及び売掛金	77,937	75,676
商品及び製品	22,129	24,111
仕掛品	25,696	30,263
原材料及び貯蔵品	24,745	32,144
繰延税金資産	2,319	2,368
その他	11,409	12,869
貸倒引当金	△177	△171
流動資産合計	179,263	195,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	150,486	153,888
減価償却累計額	△99,624	△103,048
建物及び構築物（純額）	50,862	50,840
機械装置及び運搬具	295,515	304,963
減価償却累計額	△243,392	△253,766
機械装置及び運搬具（純額）	52,123	51,196
鉱業用地	501	503
減価償却累計額	△219	△231
鉱業用地（純額）	281	271
土地	33,472	32,927
建設仮勘定	6,578	8,652
その他	49,319	51,330
減価償却累計額	△40,610	△41,440
その他（純額）	8,709	9,889
有形固定資産合計	152,027	153,780
無形固定資産	4,731	4,434
投資その他の資産		
投資有価証券	93,410	128,094
長期貸付金	486	461
繰延税金資産	1,760	2,215
その他	6,549	7,767
貸倒引当金	△157	△130
投資その他の資産合計	102,050	138,408
固定資産合計	258,809	296,623
資産合計	438,072	491,881

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,547	38,540
短期借入金	70,463	49,898
コマーシャル・ペーパー	10,000	19,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	1,338	1,760
繰延税金負債	0	17
引当金	5,643	3,887
その他	25,668	28,994
流動負債合計	160,661	152,097
固定負債		
社債	40,000	50,000
長期借入金	49,909	82,526
繰延税金負債	2,572	4,147
退職給付引当金	22,086	22,212
その他の引当金	2,678	2,679
資産除去債務	2,458	2,565
その他	2,655	2,327
固定負債合計	122,361	166,458
負債合計	283,023	318,556
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,129	42,129
資本剰余金	22,557	22,557
利益剰余金	90,302	100,193
自己株式	△592	△596
株主資本合計	154,397	164,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	767	2,093
繰延ヘッジ損益	219	△949
為替換算調整勘定	△8,849	△787
その他の包括利益累計額合計	△7,861	357
少数株主持分	8,514	8,682
純資産合計	155,049	173,324
負債純資産合計	438,072	491,881

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	306,853	322,641
売上原価	266,166	271,488
売上総利益	40,686	51,153
販売費及び一般管理費	30,749	33,588
営業利益	9,937	17,565
営業外収益		
受取利息	97	106
受取配当金	611	624
為替差益	162	852
持分法による投資利益	268	770
不動産賃貸料	703	762
その他	621	543
営業外収益合計	2,464	3,660
営業外費用		
支払利息	1,804	1,722
その他	1,063	1,260
営業外費用合計	2,867	2,982
経常利益	9,534	18,243
特別利益		
固定資産売却益	118	514
受取損害賠償金	202	—
その他	214	133
特別利益合計	535	648
特別損失		
固定資産売却損	31	56
固定資産除却損	574	557
災害による損失	3	22
損害賠償金	47	1,057
事業譲渡損	328	—
その他	605	1,105
特別損失合計	1,591	2,800
税金等調整前四半期純利益	8,478	16,091
法人税、住民税及び事業税	2,345	3,220
法人税等調整額	20	901
法人税等合計	2,366	4,122
少数株主損益調整前四半期純利益	6,111	11,968
少数株主利益	644	303
四半期純利益	5,467	11,665

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,111	11,968
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△151	1,267
繰延ヘッジ損益	△227	△852
為替換算調整勘定	2,215	5,023
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,100	3,080
その他の包括利益合計	735	8,520
四半期包括利益	6,846	20,489
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,048	19,882
少数株主に係る四半期包括利益	797	606

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属 ・資源	電子 材料	素材 関連	自動車 機器	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	42,127	70,309	50,686	76,123	68,118	307,364	△511	306,853
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,993	29,736	2,589	15,038	116	49,473	△49,473	—
計	44,120	100,045	53,275	91,161	68,234	356,837	△49,984	306,853
セグメント利益 又は損失(△)	6,733	△3,278	1,952	1,458	5,421	12,286	△2,752	9,534

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,139百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属 ・資源	電子 材料	素材 関連	自動車 機器	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	34,399	82,798	48,090	75,818	64,959	306,066	16,575	322,641
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,521	31,959	2,520	19,017	180	55,199	△55,199	—
計	35,921	114,758	50,610	94,836	65,139	361,266	△38,624	322,641
セグメント利益	4,700	1,780	2,818	8,781	1,766	19,847	△1,603	18,243

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,956百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載の通り、当社及び連結子会社の台湾特格股份有限公司において、第1四半期連結会計期間より、薄膜材料製品のたな卸資産の評価に係る見積りの変更を実施しております。これに伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が素材関連セグメントで2,216百万円増加しております。